



気になる宇陀市の財政

問 財政課
82・1305／IP 88・9071

歳入と歳出を差し引いた結果、
8億6948万円の黒字となり、
次年度予算へ繰り越しました。

一般会計 歳入

※ () 内は構成比

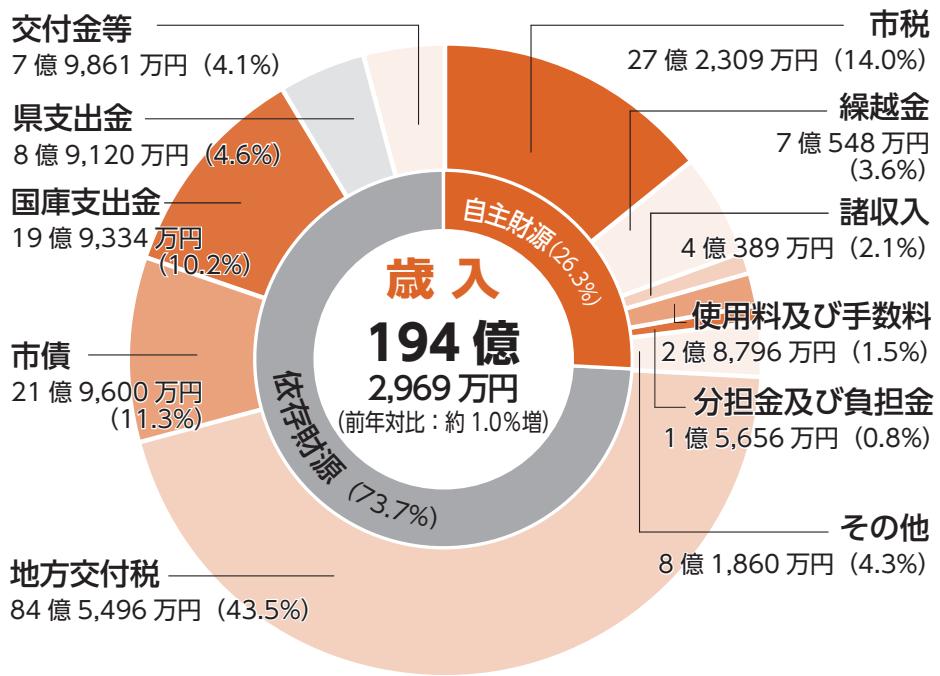
一般会計

歳入

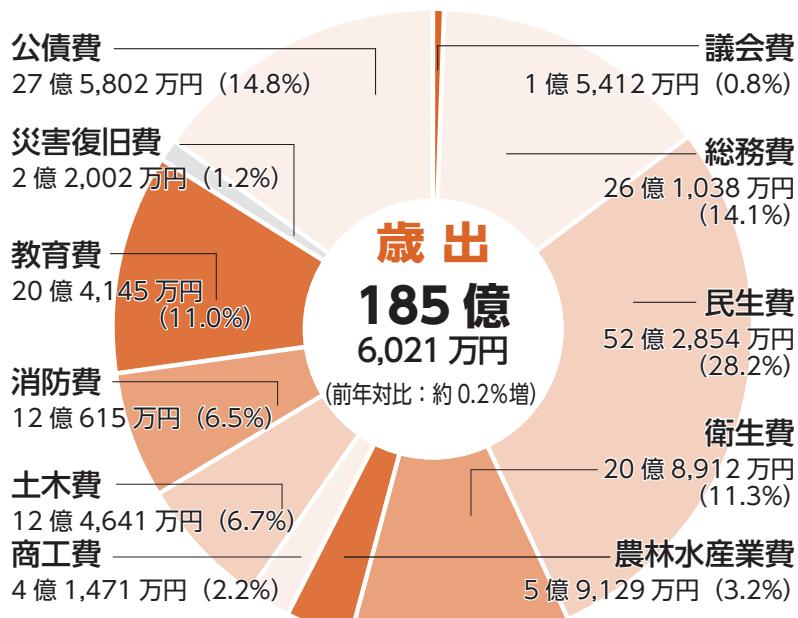
毎年の市税の減少に加えて国庫支出金、地方交付税が減少しましたが、繰入金、市債発行の

一般会計 歳出

主に公債費などが減少したものの、総合センター・菟田野中学校の太規模改修事業や災害復旧事業の実施により、前年度決算額と比べて約0・2%の増となりました。



一 平成29年度決算報告一



※金額の記載は全て表示単位未満で端数処理しています

【歲出】

- ▶ 総務費…人事・企画・財政・課税徴収・住民窓口・選挙・統計事業等に使ったお金
 - ▶ 民生費…高齢者、障がい者、児童福祉、生活保護など福祉事業に使ったお金
 - ▶ 衛生費…予防接種や健診、病院、ごみ処理など健康増進や環境保全等に使ったお金
 - ▶ 教育費…幼稚園や学校教育、文化財保存、生涯学習等の教育全般に使ったお金
 - ▶ 公債費…市債（市の借金）を返済するために使ったお金

特別会計

企業会計

会計名	歳入	歳出	差引額
住宅新築資金等貸付事業	2,715万円	3億3,374万円	△3億659万円
靈苑事業	1億5,351万円	1億2,449万円	2,902万円
国民健康保険事業（事業勘定） 〃（診療施設勘定）	49億1,046万円 9,110万円	47億5,954万円 8,979万円	1億5,092万円 131万円
介護保険事業	41億1,587万円	40億2,653万円	8,934万円
下水道事業	8億8,463万円	8億7,797万円	666万円
土地取得事業	9,954万円	9,954万円	0円
後期高齢者医療事業	4億6,707万円	4億6,694万円	13万円
特別会計合計 ()は前年度決算額	107億4,933万円 (112億5,207万円)	107億7,854万円 (111億499万円)	△2,921万円 (1億4,708万円)

特定の事業を行う場合、また特定の歳入をもつて特定の歳出に充て、一般の歳入歳出と区分して経理するため条例により設置している会計です。住宅新築資金等貸付事業を除く会計は黒字でした。

また、簡易水道事業は、企業会計の水道事業会計との統合により、平成28年度をもつて廃止となりました。



▲美榛苑



公営企業は、民間企業のように利用料金等を財源に、公共の利益を目的に経営する事業で、市では次の4つの公営企業会計を運営しています。

水道事業

平成29年から簡易水道事業を統合し水道事業として運営を行っており、給水件数は10,727件、年間有収水量は2,458,490m³でした。

給水区域内において水道未普及地域解消事業として送配水管の敷設工事を行っています。

収支差引は438万円の黒字決算となりました。

美榛苑事業

平成22年10月1日より指定管理者による経営に移行し、平成29年度中も指定管理による経営となりました。

収支差引は指定管理者からの納付金と一般会計からの補助金を受け、1億3,173万円の黒字決算となり、一時借入金の返済に充当しました。

市立病院事業

平成29年度の入院患者数は、延べ49,143人（1日平均135人）、外来患者数は、延べ91,663人（1日平均376人）でした。

また、収支差引は、5,745万円の純損失となりました。

収益 10億8,730万円		費用 10億8,292万円	
営業収益	6億443万円	営業費用	9億9,900万円
給水収益	6億415万円	給与費	1億104万円
その他	28万円	県水受水費	1億8,809万円
営業外収益	4億8,287万円	減価償却費	5億4,743万円
特別利益	0円	その他	1億6,244万円
		営業外費用	8,391万円
		特別損失	1万円

収益 1億7,342万円		費用 4,169万円	
営業外収益	1億7,342万円	営業費用	4,002万円
一般会計補助金	1億5,158万円	減価償却費	4,002万円
指定管理者納付金	2,000万円	営業外費用	167万円
雑収益	184万円	支払利息等	102万円
		雜支出	65万円

収益 33億9,145万円		費用 34億4,890万円	
医業収益	29億6,101万円	医業費用	33億1,742万円
入院収益	18億6,390万円	給与費	20億2,267万円
外来収益	9億4,179万円	材料費	4億9,137万円
その他	1億5,532万円	経費	4億7,488万円
医業外収益	4億3,044万円	減価償却費	3億2,075万円
特別利益	0円	資産減耗費	38万円
		研究研修費等	737万円
		医業外費用	1億3,147万円
		特別損失	1万円

収益 4億9,137万円		費用 5億877万円	
事業収益	4億7,127万円	事業費用	4億8,912万円
介護報酬収益	4億298万円	給与費	3億4,374万円
施設利用料収益	6,770万円	材料費	3,903万円
その他	59万円	経費等	8,446万円
事業外収益	2,010万円	減価償却費	2,189万円
特別利益	0円	事業外費用	1,965万円
		特別損失	0円

宇陀市の家計の状況は？

宇陀市の財政状況



やっくりできてる？

財政状況は、様々な指標から見ることで初めて分かります。

家計と同じで収支（資金繰り）と借入に注目することが重要です。

経常収支比率

▼財政にゆとりがあり、様々な状況に柔軟に対応できるか？

H29年度 99.3%
(H28年度類似団体平均 91.0%)

市税、普通交付税など
の経常的な収入のうち、
人件費や公債費、扶助費
などの行政サービスを維
持するために必要な経費
へ充てた割合。

H29年度 0.30
(H28年度類似団体平均 0.39)

▼自主的な収入だけで、どれだけ賄えるか？

H29年度 18.5%
(一般に10%程度が望ましい)

▼急な事態等に備える基金（貯金）はあるか？

平成29年度の宇陀市の決算数値
※宇陀市における早期健全化基準（イエローカード）・財政再生基準（レッドカード）

宇陀市の市債（借金）残高はどれくらい？

合計 376億 8,115万円

▼前年度より
約11億円減少！

主な内訳

- 一般会計……252億 6,175万円
- 下水道事業……46億 2,498万円
- 水道事業……37億 7,519万円
- 市立病院事業……29億 8,183万円
- 介護老人保健施設事業……6億 50万円



標準財政規模とは、市が標準的な状態で通常収入が見込まれる一般財源の規模のこと

市では、ここ数年、ほぼ横ばいで推移しています。

平成29年度は、財政規模が縮小され、かつ繰入により基金残高が減ったため、前年度に比べて2.5ポイント減少しました。

H29年度 18.5%
(一般に10%程度が望ましい)

予期しない収入減や不時の中出増加に備える財政調整基金の残高が市の標準的な財源の収入額に対してもどの程度の比率を保有しているかを示す割合です。

財政調整基金対標準財政規模比率

▼市の人団や面積、税収などに応じ、国が定めた方法で計算した、その市の基準的な収入と支出のバランスを表した財政の体力を示す指標です。

数字が大きいほど財源にゆとりがあり、1に近づくと自主財源で運営できることになります。

▼急な事態等に備える基金（貯金）はあるか？

収支では、経常的な収入（例えば、給料）で経常的な支出（例えば、生活費）がまかなえているか？【II経常収支比率・財政力指数】、会計が赤字になつていなか？【II実質赤字比率・連結実質赤字比率】、借入（例えば、毎年のローン返済や残高）が多すぎないか？【II実質公債費比率・将来負担比率】がポイントとなります。

財政健全化比率

「早期健全化基準（イエローカード）」、「財政再生基準（レッドカード）」の数値を超えた場合は、財政上の制約を受けたり、健全化計画を策定し、実行する必要があります。

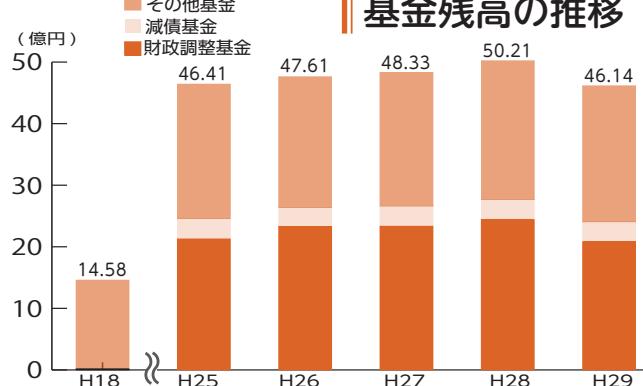
種類	指標名	指標の概要	平成29年度の宇陀市の決算数値
健全化判断比率	実質赤字比率	標準財政規模に対する一般会計、特別会計（住宅新築資金等貸付事業・靈苑事業・土地取得事業）の赤字額の比率	▲3.25%【黒字】（黒字額は、対前年度比0.09ポイント減少） ※（イエローカード）13.15%、（レッドカード）20.0%
	連結実質赤字比率	標準財政規模に対する全会計（一般会計・特別会計・企業会計）の赤字額の比率	▲21.76%【黒字】（黒字額は、対前年度比1.08ポイント減少） ※（イエローカード）18.15%、（レッドカード）30.0%
	実質公債費比率	標準財政規模に対する当該年度の借入金（借金）の返済額等の比率で3か年平均	14.7%で健全化基準をクリア。（対前年度比0.8ポイント改善） ※（イエローカード）25.0%、（レッドカード）35.0%
	将来負担比率	標準財政規模に対する負担すべき将来の債務（全会計・一部事務組合の負担義務のある残債、土地開発公社の債務保証、負担義務のある職員退職金等）の比率	118.2%で健全化基準をクリア。（対前年度比18.7ポイント改善） ※（イエローカード）350.0%

公営企業	資金不足比率	各会計における事業の規模に対する資金の不足額の比率	■保養センター事業（美櫻苑）会計 55.9% ※（イエローカード）20.0% 当事業は経営健全化計画を策定して以降、一部計画の変更を経て、経営改善に取り組んできました。その結果、前年度より38.3ポイント改善しました。 ■その他の下水道事業、市立病院事業、介護老人保健施設事業、水道事業会計については、資金不足は生じていません。
------	--------	---------------------------	--

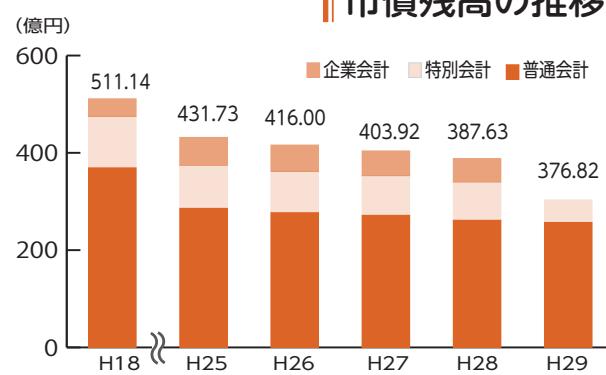
経常収支比率の推移



基金残高の推移



市債残高の推移



職員数の推移



決算額
3億3,725万円

生徒が一日の大半を過ごす活動の場であり、非常災害時には避難所としての役割を果たす学校校舎の大規模改修工事を行いました。<写真：菟田野中学校>

菟田野中学校 大規模改修事業

決算額
2億700万円

広く生涯学習の場として利用されている総合センターの改修を行いました。

<写真：総合センター>



29年度の 主な事業

主にこんな事業
に取り組んだよ



地方創生事業

まちづくり協議会支援事業

決算額 **2,385万円**

地域の連携と地域の課題解決を図るとともに、地域の中での経済循環の仕組みを形成することにより、市民主導でまちの賑わいを創出。



決算額
3億7,991万円

便利な田舎 ～宇陀のレシピ事業～

決算額 **728万円**

「出産祝い金支給事業・こんにちは赤ちゃん訪問事業・ぴかぴか1年生応援事業・トライアルトレーニング事業」などにより、結婚・出産・子育てを支援。



地方創生事業とは

宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中間年として、市民の皆さまをはじめ、産・官・学・地域が一体となって、人口減少問題をはじめとする少子高齢化、過疎化、地域経済の低迷に打ち克つべく、取り組みを進めました。

大和高原スポーツツーリズム 推進プロジェクト

決算額 **361万円**

還暦野球や自転車をはじめとする健幸都市宇陀ならではのスポーツツーリズムを推進し、継続的な経済効果や安定的な交流人口の増加を図った。



アントレプレナー（起業家） 育成循環事業 決算額 **2,135万円**

奈良県、宇陀市、ロート製薬（株）による「大和高原の魅力ある仕事づくりに関する連携協定」により、地域おこし協力隊制度を活用し、起業家を全国から公募し、育成・支援を実施。併せて、起業支援メニューの充実を図った。

市職員の給与と職員数など、人事行政の運営状況をお知らせします

地方公務員法第58条の2の規定に基づき、市的人事行政運営の公正性と透明性を高める目的で、職員の給与や職員数、勤務条件などを公表します。

問人事課 (☎ 82・1303/IP ☎ 88・9069)

給与、職員の任免および職員数に関する状況

- 職員数は平成29年度から30年度において、新規採用者数が26名、退職者数が34名、全体で8名の減数となりました。
- 普通会計決算のうち人件費の占める割合は、平成29年度で18.4%と、3年連続で減少しています。

職員給与費の状況 (普通会計決算)

区分	職員数 (人) A	給与費 (千円)					一人当たり給与費 (千円) B/A
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	対前年比較	
H27年度	377	1,492,624	272,389	607,409	2,372,422	—	6,293
H28年度	365	1,447,424	275,819	604,764	2,328,007	△ 44,415	6,378
H29年度	354	1,383,959	276,318	590,017	2,250,294	△ 77,713	6,357

職員数は、各年4月1日現在における普通会計に属する職員数

- 平成29年度においては、国家公務員の給与水準が引き上げられたことに伴い、宇陀市においても同様の改定を行いました。
- 普通会計とは、市の全部の会計から公営企業などの特別会計(病院、水道、介護老人保健施設、下水道など)を除いたものです。

人件費の状況 (普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (人)	歳出額 (千円) A	実質収支 (千円)	人件費 (千円) B	人件費率 B/A (%)	人件費対前年比較 (千円)	住民基本台帳人口は、各年度の3月31日現在の人口
H27年度	31,845	18,753,877	642,168	3,678,227	19.6	—	—
H28年度	31,254	18,508,134	368,337	3,544,338	19.1	△ 133,889	—
H29年度	30,731	18,536,076	366,026	3,404,518	18.4	△ 139,820	—

住民基本台帳人口は、各年度の3月31日現在の人口

※人件費には、職員給与のほか、議員・委員等報酬、特別職給料、市町村職員共済組合負担金などを含みます。

部局別職員数の状況と増減数

(各年4月1日現在)

部局	職員数			対前年増減数	対前々年増減数
	H28年	H29年	H30年		
(1) 市長の事務部局の職員	507	500	493	△ 7	△ 14
ア 一般事務部局の職員	317	311	303	△ 8	△ 14
(内訳) 本庁	297	291	285	△ 6	△ 12
大宇陀地域事務所	7	7	6	△ 1	△ 1
菟田野地域事務所	7	7	6	△ 1	△ 1
室生地域事務所	6	6	6	0	0
イ 宇陀市立病院の職員	190	189	190	1	0
(2) 議会事務局の職員	4	4	4	0	0
(3) 市営水道の事務部局の職員	17	16	15	△ 1	△ 2
(4) 介護老人保健施設さんとびあ榛原の職員	36	37	37	0	1
(5) 教育委員会の事務部局の職員	70	65	65	0	△ 5
合 計 (1) + (2) + (3) + (4) + (5)	634	622	614	△ 8	△ 20

年齢別職員構成

(平成30年4月1日現在)

区分	職員数 (人)
20歳未満	0
20～23歳	17
24～27歳	27
28～31歳	41
32～35歳	39
36～39歳	39
40～43歳	55
44～47歳	117
48～51歳	93
52～55歳	82
56～59歳	101
60歳以上	3
計	△ 614

※年齢別職員構成をみるとバランスが悪く特に40歳未満の職員が非常に少ないため、30歳代の職務経験者の採用を行うなど、将来的な組織作りを見据えた取り組みを行っています。

職員の初任給および経験年数別・学歴別平均給料月額の状況

(平成30年4月1日現在)

区分	初任給 (円)		宇陀市: 経験年数別給料月額 (円)		
	宇陀市	国	5～10年未満	10～15年未満	15～20年未満
一般行政職	大学卒	185,800	179,200	245,300	276,400
	高校卒	151,500	147,100	—	282,200
技能労務職	高校卒	144,500	—	—	230,500

※平成19年4月より行政財政改革の一環として、職員給料の減額を実施してきました。その結果、人件費比率の改善、合併当時の危機的な財政状況から脱却したことなど、一定の効果が見られたことにより、今年3月31日をもって2.5%の給料減額措置を廃止しました。

※平成23年より、国家公務員の給与制度に準じて実施してきた55歳を超える職員の給料の1.5%減額は、国の制度の廃止に伴い、今年3月31日をもって廃止しました。

■期末・勤勉手当の状況 (平成 29 年度 普通会計決算)

区分	期末手当	勤勉手当	1人当たり平均支給額
宇陀市	2.60 月分	1.80 月分	1,667 千円
国	2.60 月分	1.80 月分	—

■その他の手当の状況

(平成 29 年度 普通会計決算)

手当の名称	支給実績(千円)	1人当たり平均支給額(千円)
地域手当	45,240	127
特殊勤務手当	2,410	30
時間外勤務手当	96,250	351
扶養手当	45,425	220
住居手当	14,282	83
通勤手当	24,179	87
管理職手当	45,375	567

■特別職の報酬などの状況 (平成 29 年度分)

区分	給料・報酬月額(円)	期末手当	勤勉手当	退職手当(算定方法)
給料	市長	697,000 (820,000)	3.30 月分	給料月額 × 勤続年数 × 520 / 100
	副市長	612,000 (680,000)		〃 × 330 / 100
	教育長	513,000 (570,000)	3.30 月分	〃 × 240 / 100
報酬	議長	430,000	3.30 月分	
	副議長	360,000		
	議員	330,000	—	

■職員の勤務時間・その他の勤務条件の状況

■勤務時間

月～金曜日 (休日・祝日を除く)
午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分 (うち休憩時間 60 分)

※週休日、祝日に開館している施設については、4 週間で 8 日の週休日を設けています。

■年次有給休暇、特別休暇

○年次有給休暇：1 年に 20 日 (現年付与分のみ繰り越し可能)。
○病気休暇：負傷または疾病のため療養する場合の休暇 (90 日)。
○特別休暇：骨髄提供のための休暇、裁判員等として出廷するための休暇、ボランティアのための休暇、結婚休暇、産前・産後休暇 など

■退職手当の状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

区分	自己都合	勧奨・定年
支給率	勤続 20 年	20.445 月分
	勤続 25 年	29.145 月分
	勤続 35 年	41.325 月分
	最高限度	49.59 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (定年前 1 年につき 3%)	
1 人当たり平均支給額	6,232 千円	19,344 千円

※地域手当とは、民間賃金の高い地域との給与水準の調整を図るために支給する手当をいいます。

※特殊勤務手当とは、著しく不快、不健康または困難な勤務に対して給与上の特別な考慮を行うため、その勤務の特殊性に応じて支給する手当をいいます。

○市では、平成 26 年 4 月から市長は給料月額の 15%、副市長および教育長は 10% の減額措置を実施しています。
() は、給料減額前の額です。

■職員の服務 (地方公務員法第 30 条に基づく)

①法令等及び上司の職務上の命令に従う義務 ②信用失墜行為の禁止 ③秘密を守る義務 ④職務に専念する義務 ⑤政治的行為の制限 ⑥争議行為等の禁止 ⑦営利企業等の従事制限

■職員の研修の状況

○奈良県市町村職員研修センター実施分

各種階層別研修 (新規採用 / 中堅)

専門研修 (簿記入門 / 地方公会計基礎実務 / 滞納整理実務 / 対人関係力向上研修 / 土木技術系 / 税務 / 政策形成など)

■独自研修

新規採用職員研修 / 接遇研修 / メンタルヘルス研修 など

■分限・懲戒処分、公平委員会への措置要求、不服申立

■分限処分と懲戒処分 (平成 29 年度)

処分の種類	処分者数(人)	処分の種類	処分者数(人)		
分限	降任	一	懲戒	戒告	一
免職	一	減給	一		
休職	12	停職	一		
分限	降給	免職	一		

※分限処分とは、心身の故障等により職務を果たせない場合に公務能率を維持するための処分をいいます。

※懲戒処分とは、公務員としてふさわしくない非行があつた場合に行う処分をいいます。

■公平委員会の状況 (平成 29 年度)

区分	件数
勤務条件に関する措置の要求	0
不利益処分に関する不服申立て	0

※職員は、給与など勤務条件に関し、公平委員会に対し、市の当局より適切な措置をとられるよう要求することができます。また、懲戒処分など不利益な処分を受けたときは、同委員会に対し不服申立てをすることができます。

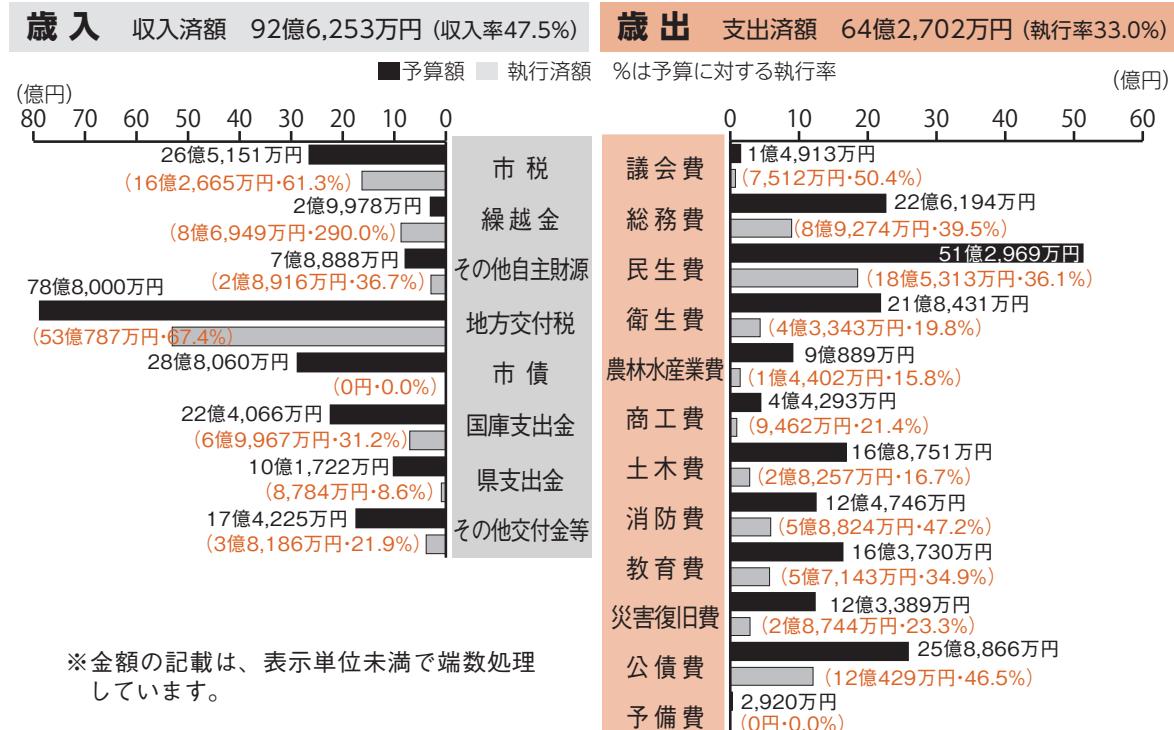
■退職者の再就職状況の概要

(平成 30 年 3 月 31 日退職者)

区分	再就職の届出があった者(人)	市以外に再就職(人)		
		民間企業	国・地方公共団体	公共的団体等
課長級以上の職にあった職員	3	—	3	—

市職員の給与は、「宇陀市の一般職の職員の給与に関する条例」のほか、関係条例・規則等の規定に基づき支給しています。また、市職員の定員管理等の詳しい内容は、ホームページで来年 5 月頃公表します。

一般会計 福祉や教育をはじめ、市の行政運営の基本的な経費が計上されている会計です。今年度の一般会計予算は4月に市長選挙を控えていたことから当初に173億6,000万円の骨格予算を計上し、前年度からの繰越予算16億2,859万円と上半期の補正予算5億1,231万円を合わせると9月末現在の予算現額は、195億90万円となっています。これは、昨年度の同時期と比べると、2億8,116万円の減となっています。



特別会計 特定の事業を行う場合に一般会計と区別して経理するために条例により設置している会計です。

特別会計名	予算現額（9月末現在）	収入済額	支出済額
住宅新築資金等貸付事業	3億2,759万円	1,549万円 (4.7%)	3億1,230万円 (95.3%)
靈苑事業	3,440万円	2,081万円 (60.5%)	563万円 (16.4%)
国民健康保険事業（事業勘定）	39億1,200万円	18億2,379万円 (46.6%)	15億4,070万円 (39.4%)
国民健康保険事業（診療施設勘定）	1億2,227万円	1,548万円 (12.7%)	3,164万円 (25.9%)
介護保険事業	40億8,600万円	16億9,768万円 (41.5%)	16億7,248万円 (40.9%)
下水道事業	7億7,650万円	1億665万円 (13.7%)	3億1,002万円 (39.9%)
土地取得事業	7,400万円	4,913万円 (66.4%)	4,913万円 (66.4%)
後期高齢者医療事業	5億470万円	1億5,254万円 (30.2%)	1億5,791万円 (31.3%)
合計	98億3,746万円	38億8,157万円 (39.5%)	40億7,981万円 (41.5%)

企業会計 民間企業のように利用料金などの収益で運営している会計で、市では水道局・市立病院・さんとぴあ榛原・美榛苑を企業運営しています。

水道事業		市立病院事業	
収益	4億6,132万円	費用	5億1,200万円
営業収益	3億346万円	営業費用	4億7,628万円
給水収益	3億336万円	給与費	4,516万円
その他	10万円	県水受水費	9,431万円
営業外収益	1億5,786万円	減価償却費	2億7,524万円
		その他	6,157万円
		営業外費用	3,543万円
		特別損失	29万円

介護老人保健施設事業			
収益	2億4,339万円	費用	2億2,565万円
施設運営事業収益	2億3,956万円	施設運営事業費用	2億2,092万円
介護報酬収益	2億556万円	給与費	1億4,965万円
施設利用料収益	3,365万円	材料費	2,024万円
その他	35万円	経費	4,055万円
施設運営事業外収益	383万円	減価償却費など	1,048万円
		施設運営事業外費用	473万円

美榛苑事業			
収益	2,092万円	費用	2,027万円
営業外収益	2,092万円	営業費用	2,001万円
一般会計	2,000万円	修繕費	0円
補助金	92万円	減価償却費	2,001万円
雑収益		営業外費用	26万円
		支払利息等	8万円
		雑支出	18万円

うだ産フェスタ 2018 全国薬草シンポジウム

特集

市政トピックス

うだぢから

まちのわだい

みんなで子育て

病院・ウェルネス

お知らせ

掲示板

うだチャン

アイテア満載！宇陀のグルメが熱い戦い！！ 奈良あつたがもんグランプリ宇陀予選結果

うだ夢創の里が
「うだ北斗の黒龍麵」
で連覇！



同時開催 農林産物品評会・即売会 結果

展示会場では、丹誠込めて育てられた見事な農林産物（出品者：74人、出品数：236点）が勢揃い。即売会の収益金35,000円は、出品された方々のご厚意により、市の善意銀行に預託させていただきました。

【敬称略】

【特賞の部】	氏名	品目
県知事賞	松井 正司（大宇陀）	白菜
県議会議長賞	西垣 実（菟田野）	大根
県東部農林振興事務所長賞	福田 遼裕（榛原）	ダリア
市長賞	長木 節次（榛原）	ほうれん草
市議会議長賞	迎 楠代司（大宇陀）	宇陀金ごぼう
市農業委員会長賞	小西 源藏（菟田野）	かぶら
県農業協同組合代表理事長賞	三浦 恵津子（榛原）	栗
県農業共済組合組合長理事賞	多田 善英（榛原）	玄米
市森林組合代表理事組合長賞	久我 文昭（榛原）	竹炭の三重塔
室生村森林組合代表理事組合長賞	南 隆志（室生）	原木しいたけ

【入賞の部】	氏名・品目
市長優秀賞	辻 公美子（榛原）ねぎ、津田 求（榛原）じゃがいも、久保 賀永子（菟田野）たまねぎ、新森 孝男（室生）黒豆枝豆、室 徳司（榛原）里いも
市長特別賞	薄木 輝雄（菟田野）かぶ、大久保 鮮子（榛原）大根、棚田 幸子（榛原）キウイ、辻本 夏恋（菟田野）木製加工品、（株）福角兄弟農園（榛原）ミズナ

○ 以内 ○ 補助金 1 团体 （個人） 20 万円	○ 補助金 限度額 補助額 交付決定から当該年度末まで	○ 補助対象期間 補助対象費用 野菜に関する機能性表示制度 を活用するための食品の評価 分析などの経費	○ 対象事業 経費 （生産） の本拠 び個人	○ 対象 市内に本部または活動 （生産） の本拠とする団体およ び個人

機能性評価分析についての生産者の相談内容に応じた専門の方の助言等の個別相談も随時に受け付けています

訂正とお詫び

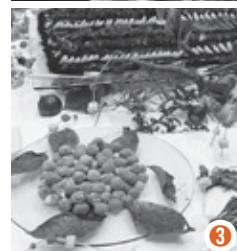
広報11月号P10にも掲載しています補助金限度額の（ ）書きに「総事業費の2分の1」とあるのは誤りです。訂正しお詫びします。

宇陀市の食と産業など魅力満載のイベントを10月27・28日、総合体育館で開催！

2日間合わせて、約5,000人が来場され、宇陀の魅力を堪能いただきました！



▲『やまと薬膳』として食の大切さを語るオオニシ恭子さん



①各ブースも元気いっぱい ②シンポジウムでの事例発表

③交流会で出された薬草料理の数々 ④薬草めぐりでは森野旧薬園へ

市では、市内で生産された野菜の機能性を表示し、他の商品との差別化、また付加価値を高めることで農業の活性化を促進しています。

生産者が機能性表示食品の評価分析などをを行う場合、その費用の一部を補助します。

宇陀市産農産物の付加価値を高めます
野菜の機能性評価分析を支援します

問 産業企画課 (082-5874/1P 088-9075)



台湾学校給食コンテストにゲスト参加&文部科学大臣表彰受賞 学校給食センターが台湾でも高評価!

問 学校給食センター（☎82・3784）

10月20日、21日に台湾の台北市で、第1回台湾学校給食コンテストが開催されました。これは、全国学校給食甲子園を見学した台湾の関係者が、食育振興のために開催したもので、昨年全国大会で準優勝の宇陀市立学校給食センターが事例発表者として招待を受けました。

大会前日には、地場産物を活用した学校給食の献立と調理に取り組む活動を発表し、その後、模範調理として地場産物を使つた美味しい給食献立を実際に調理してふるまい、コンテストに登場した台湾の先生たちに、感謝を与え、賞賛の声をいただきました。

また、11月には学校給食の普及および充実を図るため、学校給食の実施に向け、優秀な成果をあげた学校給食施設として、同センターが文部科学大臣表彰を受けました。同センターは、学校給食を通じ、食育の推進、地産地消の推進をはじめ、県学校給食研究会での発表や日本全国給食図鑑への掲載、全国学校給食甲子園への出場などが評価され、今回初の受賞となりました。



▲▼第12回全国学校給食甲子園準優勝の宇陀市学校給食センター宇良調理員（写真：左）辰己学校栄養職員（同：右）とが事例発表



◀模範調理献立
柿の葉寿司、揚げなすと南瓜のそぼろあんかけ、秋のかみかみ酢の物、大和めん、黒豆あんわらび餅

■公共施設IP電話番号・ダイヤルイン番号

課名	IP電話	ダイヤルイン	課名	IP電話	ダイヤルイン	施設名	IP電話	ダイヤルイン
【市役所】								
議会事務局	88-9082	82-5771	介護福祉課	88-9088	82-3675	市中央公民館	88-9180	83-0551
秘書広報情報課	88-9083	82-3912	こども未来課	88-9080	82-2236	菟田野分館	88-9190	84-3521
管財課	88-9084	82-3632	厚生保護課	88-9079	82-2221	榛原分館	82-3377	82-0374
人事課	88-9069	82-1303	商工観光課	88-9081	82-2457	室生分館	92-2496	92-2496
総務課 (市役所内代表)	88-9068	82-1302	農林課（農業委員会）	88-9090	82-3679	【公共施設】		
	88-9099	82-1301	産業企画課	88-9075	82-5874	水道局	88-9067	82-2185
危機管理課	88-9070	82-1304	地籍調査課	88-9091	82-5608	下水道課（水道局内）	88-9104	82-5627
企画課	88-9074	82-1362	まちづくり推進課	88-9092	82-5624	医療介護あんしんセンター	88-9480	85-2500
財政課	88-9071	82-1305	公園課	88-9093	82-3674	子育て支援センター	84-9925	84-9925
徴収対策課	88-9085	82-3643	建設課	88-9095	82-5638	総合体育館	82-0511	82-6561
税務課	88-9072	82-1306	公営住宅課	88-9096	82-5642	【地域事務所】		
まちづくり支援課	88-9094	82-3910	宿泊施設用地・公園整備課	88-9089	82-3980	大宇陀地域市民課	88-9114	大宇陀地域事務所
市民課	88-9076	82-2143	出納室	88-9098	82-5673		88-9195	83-2251
保険年金課	88-9086	82-3672	【教育委員会】			菟田野地域市民課	88-9187	菟田野地域事務所
環境対策課	88-9078	82-2202	教育総務課	88-9259	82-3973		88-9188	84-2521
人権推進課	88-9077	82-2147	生涯学習課	88-9364	82-3975	室生地域市民課	88-9181	室生地域事務所
健康増進課	88-9087	82-3692	文化財課	88-9365	82-3976		88-9182	92-2001

